

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公表番号】特表 2001-512515(P2001-512515A)  
【公表日】平成 13 年 8 月 21 日 (2001.8.21)  
【出願番号】特願 平 10-536636  
【国際特許分類第 7 版】  
    C 0 8 L   27/12  
    C 0 8 K   5/109  
【F I】  
    C 0 8 L   27/12  
    C 0 8 K   5/109

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】補正の内容のとおり  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成17年1月6日

特許庁長官殿



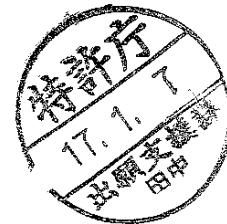
## 1. 事件の表示

平成10年特許願第536636号

## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ダイネオン エルエルシー



## 3. 代 理 人

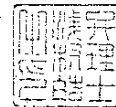
居 所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号

新 大 手 町 ビ ル デ ィ ン グ 3 3 1

電 話 ( 3 2 1 1 ) 3 6 5 1 ( 代 表 )

氏 名 ( 6 6 6 9 ) 浅 村

皓



4. 補正により減少する請求項の数 10

## 5. 補正対象書類名

請求の範囲

## 6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容 別紙のとおり



## 請 求 の 範 囲

1. (a) 弗素含有ポリマまたは弗素含有ポリマのブレンド（該弗素含有ポリマはそれぞれ、1種以上の弗素含有エチレン性不飽和モノマから誘導されたインタポリマ単位を含有する）と、

(b) 有機オニウム化合物と、

(c) カーボネートブロック架橋剤と、

を含む硬化性フルオロエラストマ組成物。

2. スコーチ現象に対して改良された耐性を呈する硬化性フルオロエラストマ組成物であって、

(a) 1種以上の弗素含有エチレン性不飽和モノマから誘導されたインタポリマ単位を含有する弗素含有ポリマと、

(b) 有機オニウム化合物と、

(c) アリールカーボネートブロック架橋剤と、

を含む硬化性フルオロエラストマ組成物。

3. 改良された耐スコーチ性を呈し、かつ成形欠陥に対する改良された耐性を有する硬化性フルオロエラストマ組成物であって、

(a) 1種以上の弗素含有エチレン性不飽和モノマから誘導されたインタポリマ単位を含有する弗素含有ポリマと、

(b) 有機オニウム化合物と、

(c) アリールカーボネートブロック架橋剤と、アルキルカーボネートブロック化合物およびアリルカーボネートブロック化合物からなる群より選ばれる1種以上の架橋剤との混合物と、

を含む硬化性フルオロエラストマ組成物。

4. (1) (A) 弗素含有ポリマまたは弗素含有ポリマのブレンド（該弗素含有ポリマはそれぞれ、1種以上の弗素含有エチレン性不飽和モノマから誘導されたインタポリマ単位を含有する）と、

(B) 少なくとも1種の有機オニウム化合物と、

(C) (a) アルキルカーボネートブロック化合物およびアリルカーボネートブロック化合物からなる群より選ばれる1種以上の架橋剤と、(b) ポリフェノール化

合物および弗素化エーテル化合物からなる群より選ばれる1種以上の架橋剤との混合物と、

を含む硬化性フルオロエラストマ組成物を射出成形するかまたはプレス加硫するステップと、

(2) 該組成物を後硬化にかけるステップと、  
を含むフルオロエラストマの硬化方法。